

学園の復旧・復興の取り組み

熊本地震発生から 約3ヵ月、改めてこの度の震災でお亡くなりになられた方々に
謹んで哀悼の意を 表しますとともに、被災されたすべての方に心よりお見舞い申し上げます。

尚絅学園の復興支援に関する主な出来事

4月14日(木)	21時26分	熊本県熊本地方の深さ約10kmでマグニチュード6.5の地震が発生。 熊本県で最大震度7を観測
	23時00分	地震対策本部を設置 ・学生・生徒・園児・教職員の安否確認 ・建物・設備の被害状況等確認 ・近隣住民の避難者は数名程度、場所を解放する ・ドミー寮生など帰宅困難な学生・生徒を尚絅学舎へ誘導(九品寺) ・如蘭学寮生、近隣アパート学生を附属こども園新園舎へ誘導(武蔵ヶ丘)

4月15日(金)		・予定している行事、会議等全て中止、全学で休校・休講措置 ・被害状況、安否状況確認 ・「応急危険度判定」実施 ～17日
----------	--	---

4月16日(土)	01時25分	熊本県熊本地方の深さ約10kmでマグニチュード7.3の地震が発生。 熊本県で最大震度7を観測
	02時30分	地震対策本部を設置 ・学生・生徒・園児・教職員の安否確認 ・避難者多数発生。被災者の要望を受け避難所として16日未明、受入開始(九品寺キャンパス)。指定避難所でなかったため、救援物資が届かず、炊き出し等の調達は学内災害用備蓄用や自前調達の支援物資などにより教職員が炊き出し等の対応を実施。

4月17日(日)		避難所を継続(ピーク時 避難者数 約250名) この間電気・水道・ガスのライフラインが停止
----------	--	---

4月18日(月)		周辺地区の電気、水道等のライフラインが正常化し、スーパーなど飲食店が営業を始めた
	10時00分	避難所閉所
		・復旧に向けて作業開始

4月25日(月)		尚絅ボランティア支援センターにより、熊本地震に関する災害ボランティアを希望する学生・教職員への 学内ボランティア登録開始 。 すでに災害ボランティア活動をしている学生にも学内登録を周知。 約150名がボランティアに登録。(4月28日現在)
----------	--	--

4月28日(木)～5月1日(日)		4日間に渡り学生等が使用する全ての建物について「被災度区分判定」実施。
------------------	--	--

5月 6日(金)		被災度区分判定結果公表 一部を除き、すべての建物について安全であると判断 授業再開を決定 学生相談窓口開設 ・震災に伴う心のケア、被災・通学困難に直面した悩みに関すること ・授業料納付に関すること ・奨学金申込みに関すること ・学修支援、就職進学支援
----------	--	--

5月10日(火)		授業再開 大学・短大部、中学・高校にて避難訓練の実施(こども園は28日実施)
----------	--	--

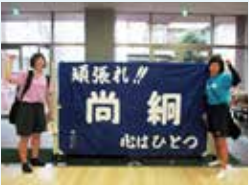
6月 1日(水)		熊本地震復興支援募金口座開設 その後、余震が現在も続いているが、建物・施設被害の復旧に向かって、教職員一丸となって取組んでいる。
----------	--	--



被災直後の学内
(4月16日)



避難所開設
(4月16日)



授業再開
(5月10日)

復旧にむけて

■ ライフラインについて

	九品寺キャンパス	武蔵ヶ丘キャンパス
電 気	4月17日(日)2時頃停電 同日11時復旧	停電せず
水 道	上水道について断水が続いた。上水道は貯水槽を使用し、節水を行い、トイレ等に使用している地下水は水槽の水の入れ替えを行い復旧。	上水道は濁りがあるため当初、飲み水利用は見送った。地下水は貯水槽破損のため断水していたが、復旧。こども園については、上水道、地下水問題なし。
ガ ス	一部の建物でガス漏れのため停止していたが復旧。	こども園ともに異常なし。

■ 安否確認について

教職員について	前震、本震後2回実施し、全教職員219名の無事を確認。
学生・生徒・園児について	前震、本震後2回実施し、 大学・短大1067名、中学・高校727名、こども園286名全員の無事を確認。
被害状況について	教職員・・・・・・自宅全壊・半壊等14名(4月28日現在) 学生・生徒・・・自宅全壊・半壊等97名(4月28日現在)

■ 施設・設備の被害状況について

第1段階 「応急危険度判定」 (余震に対する安全性の調査)	4月15日(金)～17日(日)の3日間で両キャンパス、施工業者設計担当者による安全確認を実施。 こども園については18日(月)に施工業者設計担当者による安全確認を実施。 さらに、20日(水)～22日(金)の3日間で施工業者の構造設計士、コンクリート診断士等により両キャンパス全ての建物を再確認。
第2段階 「被災度区分判定」	4月28日(木)～5月1日(日)の4日間に渡り施工業者により学生が使用するすべての建物について調査を実施。 その結果、武蔵ヶ丘キャンパス体育館及びロッカー室を除きすべての建物について「使用可」の判定となり、校舎等の建物について安全であると判断した。(5月6日現在)

■ 尚絅学舎・如蘭学寮・社宅等について

尚絅学舎を教職員の緊急避難場所として提供した。

■ 授業の対応

大学・短大部・中学・高校	4月21日(木)15時00分時点 学生・生徒の安全確保、熊本県下のインフラ状況等を勘察し、5月9日(月)までの休講(校)を決定。即時WEBページにて周知。学生、生徒に対しては教務システム、安全安心メール、電話等により対応。
こども園	1号認定こども園児は他の幼稚園と同様、5月9日(月)まで休園とし、 2号、3号認定こども園児は個別で対応。